



協働ネットワークしながわ 令和元年度総会を開催



5月17日(金)、中小企業センターにて令和元年度総会を開催しました。会員の自己紹介に始まり、平成30年度活動報告、会計報告、運営委員の改選が行われ、承認されました。

その後、前年度に引き続き運営委員長となった坪井委員より令和元年度活動計画について説明があり、承認され、閉会となりました。

総会終了後は、有志によって交流会が開かれ、活発な情報交換が行われました。協働ネットワークしながわについては、4頁にご案内があります。品川区をより住みよくするため、皆様のご参加をお待ちしています。

●令和元年度の活動計画

運営委員会 毎月1回程度開催

協働ニュース品聞 25号 総会、協働事例特集(本号)  
しなもん 26号 区民活動助成事業紹介  
27号 検討中  
28号 しながわ地域貢献活動展特集

見学会・研修会・講座 研修会 下半期に実施予定(SDGs、防災)  
見学会 随時募集中  
区民向け講座 7月 法人格取得 9月 広報テクニック  
1月 ファンドレイジング(資金調達)

参加・関連イベント 9月21日ふくしまつり 12月 8日健康生きがいメッセ  
10月18日子育てメッセ 2月22日しながわ地域貢献活動展

## 認知症カフェってなんだ

認知症は 64 以上の脳に関わる病気の総称です。65 歳以上の高齢者の約 7 人に 1 人が認知症になると言われ、どなたでも発症する可能性がありますので、他人事ではありません。長寿社会において、自身や家族、周りの方が認知症になったときに、安心して暮らせる地域にしていけることが大切です。

「認知症カフェ」では認知症に関する知識の普及啓発、予防および悪化防止、認知症の人同士の仲間づくり、生きがい活動の支援、認知症や介護に関する相談、家族同士の交流・情報交換促進、孤立防止、地域住民の認知症への理解促進、家族等との医療機関の連携強化を行っています。



八潮の  
認知症カフェ



オレンジカフェ  
品川総合福祉センター



八潮としょかん Cafe  
八潮地域センター

やしおカフェ  
こみゅにていぶらざ  
八潮

認知症の方の増加が見込まれています。高齢になれば誰でも認知症になる可能性が高くなります。認知症になっても安心して暮らせる地域にいきましょう。

認知症カフェで認知症を学んで  
みんなで楽しく交流しましょう。



## 八潮地区の認知症カフェでの協働事例

八潮みんなでまちづくり・NPO 法人協働まちづくりのやしおカフェ（毎月第2月曜日）と八潮図書館の八潮としょかん Cafe（毎月第4月曜日）と品川総合福祉センターのオレンジカフェ（毎月第3水曜日）の3つの認知症カフェがあり連携、協働して活動中です。

3つの認知症カフェは場所的に北、中、南に分散していて、開催時期も毎月第2（月）、第3（水）、第4（月）と分散しています。3つの認知症カフェで相談の上、調整しました。「オレンジカフェ」は主に認知症の方の相談と交流を、「八潮としょかんカフェ」と「やしおカフェ」は主に認知症を知りたい地域の方々への認知症の啓蒙と交流をすることにしています。相互に宣伝協力しています。

認知症カフェで行っているミニ講話で協働している団体は現在のところ下記の通りです。【】内は認知症に関連するミニ講話のタイトルです。

認知症関連：	東京品川病院	【お化粧品とリハビリテーション】
	八潮在宅介護支援センター	【もっと知ろう認知症】
	健康生きがいづくり品川協議会	【オランダ認知症の街紹介】
	シービー・シナガワ	【未定】
法律関連：	街活プランナーズ	【相続についての注意事項】
	ライフコンシェルジュ	【相続が争族にならないように】
	市民後見人の会	【人生100年時代に備えること】
	シニアコンシェルジュ協会	【未定】
食育関連：	みんなの食育	【未定】

\*認知症カフェを始めてまだ日が浅く勉強しながら走っている状態です。今後は町会・自治会や大学生のボランティア他、沢山の団体との協働を進め、みんなで楽しく暮らせる地域をみんなで作って行けたらと思っています。  
(NPO 法人協働まちづくり 杉本義雄)

2年前に開催された情報推進課主催のオープンデータ活用の講座をきっかけに、「しながわパパママ応援アプリ」(品川区)に「こうえんしょうかい」ページができました。立正大学経済学部の学生が実際に公園の調査を行い、各公園の紹介コメントは子育て中の保護者の方が担当し、三者の協働事業として運営されています。

**立正大学経済学部の学生**が、「経済フィールドワーク」という授業の一貫で、アプリに掲載する公園の情報を調査しています。フィールドワークとは、研究や調査の対象となる場所や人物を訪れ、実際に観察したり触れ合うことで理解を深める手法です。これを経済学に応用した授業です。

経済学部生ですから、普段、日本の経済状況や経済政策について学んでいます。しかし、数式でかかれた経済理論や経済統計と、自分の生活とを結び付けて考えることは、なかなかできません。この授業では、「公園」をフィールドに実際に調査・分析をすることで、日本の『少子高齢化問題』への理解を深めてもらっています。

区のプレイパークで子どもと遊び、区役所の方から区の取り組みを学び、区在住のパパママから直面している地域課題を聞く。異なる背景を持つ人々と直に触れ合うことは、学生の視野を大きく広げます。社会貢献できたことで、学生の自己肯定感が高まっているのを感じています。

(立正大学経済学部選任講師 外木好美)

**品川区子ども育成課**では、「しながわパパママ応援アプリ」を通じて子育て支援情報を発信し、子育てに対する不安解消・孤立防止に取り組んでいます。

今回、アプリ内に「こうえんしょうかい」ページを作成するにあたり、行政職員の視点だけではなく、実際に公園を利用している子育て世代の視点を取り入れたことで、よりニーズに合った情報提供ができたと感じています。また、区が公開しているオープンデータの活用に加え、「必要なデータは自分たちでも作ろう」と、大学・区民が自らオープンデータを作成しました。区として推進してきたオープンデータが一つのキーとなり、地域課題を解決する新しい協働のカタチができたことも、大きな成果と感じています。

今後も、多様化する地域課題に対し、区民や大学、企業などさまざまな関係者と協働し、多様な視点を取り入れながら課題解決に取り組んでまいります。

(品川区 子ども育成課・情報推進課)

4歳と1歳の子どもを育てながら、IT関連の会社で商品企画の仕事を行なっています。

今回は**地域のパパママとともに、実際に子どもを連れて行くパパママ目線**で公園

紹介文の作成やアプリに求められている機能について要望をまとめることで参加しました。

女性の社会進出がすすみ、出産直前まで勤務先と家との往復で、子どもが生まれてはじめて地域で過ごすことになるパパママが増えてきています。そんな気持ちに少しでも寄り添った情報を伝えることができればいいなと思います。

幼少期学童期を過ごした場所は子どもにとって「ふるさと」になります。一市民として、こういった形で地域のつながりを持てたこと、地域の問題解決に貢献できたことは、子どものためにもなったと思います。

(旗の台在住 黒田晴美)



## ご報告

### 地域活動・NPO 活動入門講座

～であいふれあい ささえあいⅡ～

これから地域で活動してみたい方向けの  
2回連続の入門講座を行いました。

第1回2019年2月7日(木)

講師の NPO まちぽっとの辻利夫さん(品川区在住)に、「今地域活動がなぜ大切なのか？」についてお話ししていただきました。次に実際にボランティア活動されている方などから、品川コミュニティ・スクール、子ども食堂、さわやかサービスの活動を紹介してもらいました。

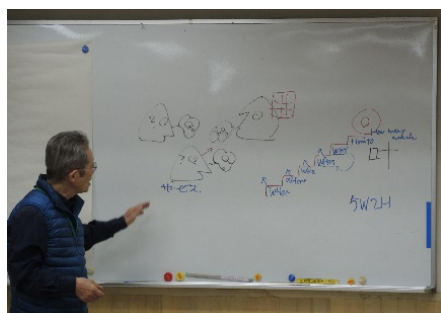
2回目までの間の1ヶ月間には、「地域でつながるみんなの暮らし展」やその他のイベントがあり、近隣の学校公開や子ども食堂なども含めて、それぞれが何かに参加してみることが宿題となりました。

第2回2019年3月7日(木)

参加者が話やすいようにアイスブレイクをした後に、宿題の参加したイベントについての意見交換を行いました。



その後に「これから叶えたいこと」について、3人一組になってグループワークを行いました。話し手は自分がこれから何をやりたいのかを2人に説明し、聞き役の2人は不明点を質問し、さらに話し手がこれから叶えたいことは何かを気付くような質問をするように心がけ、参加者それぞれが叶えたい想いを整理しました。



## イベントのご案内



地域活動をおこなう時に、NPO などの法人格は必要なのでしょうか？法人格の種類やそのメリット、デメリットについて、既に法人格を持った団体運営のヒントについても学びます。

日時：2019年7月25日(木)

13:30～16:00

会場：中小企業センター(西品川1-28-3)

2階小講習室

講師：小熊 浩典(NPO法人まつどNPO協議会  
副理事長/事務局長)

募集：25人(先着順)

参加費：無料

申し込み：7月1日より申し込み受付。

下記の事務局連絡先まで

## ご案内

### 協働ネットワークしながわ について

協働ネットワークしながわは、どなたでも入れる会員制。施設見学会、学習会、情報交換会などを行っています。社会貢献活動をなさっている方、協働に関心のある方はお気軽に問い合わせてください。また、地域活動・NPO 活動団体基礎講座申し込み、協働ニュース品間についての問い合わせも下記まで。

事務局連絡先：地域活動課 協働推進係

〒140-8715 品川区広町 2-1-36

☎：03-5742-6605

Fax：03-5742-6878

E-mail：chikikat-kyodo@city.shinagawa.tokyo.jp

25号編集責任者 杉本義雄  
sugimoto@cts.ne.jp